

# 陶町 あ・らんコンサート

最低の素材から最高の音を

～海洋ゴミ楽器集団ゴミンゾクが奏でる海の音色～

海洋ゴミ楽器集団

ゴミンゾク  
trash tribe

多種多様な『海洋ゴミ楽器』を通してゴミと資源の境目について考えるアート集団  
海洋ゴミ×民族楽器をコンセプトに世界中の民族楽器を操るミュージシャンが集結！  
海洋ゴミから作られたとは思えない30種以上もある楽器  
その不思議な楽器達がどんなものから出来ているのか…  
楽器のクオリティーの高さと  
その音色から奏でられるアンサンブルをお楽しみください

12月1日(日)

14:00 開演 (13:30 開場)

海洋ゴミを利用した楽器で音楽を奏でる  
驚きのコンサート！

会場：陶公民館 多目的ホール (瑞浪市陶町猿爪 405-1)



ゴミンゾク Web サイト↑↑

★ 全席自由 (定員 80 名)

★ チケット料金：未就学児 無料 / 小・中学生 500 円 / 高校生以上 1,000 円  
〔チケット取り扱い窓口〕陶公民館 / 水上簡易郵便局 / 瑞浪市総合文化センター

おひとり様 4 枚まで購入可能。入場チケットは 11 月 5 日(火)より指定箇所にて販売します。

当日入場も可能ですが、チケットの事前購入をオススメします。

※体温が 37.5℃以上、又は体調がすぐれない場合はご来場をお控えください。

# Member



## 大表史明【オオオモテ フミアキ】

ゴミンゾクリーダーであり、海洋ゴミから楽器の材料を探しだすトレジャーハンター。幼少期より父の影響で工作に目覚め、打楽器奏者でありながら楽器製作者としても活動。現在、ゴミンゾクが演奏する全ての楽器製作を手掛ける。

世界中の民族楽器に造詣が深く、アフリカ・インド系の打楽器をはじめ世界各地のリズムに精通。その音楽に対する幅広い知識を生かして、演奏のみならず民族楽器の製作からテレビ番組・CMなどの楽曲も手がけるなどマルチクリエイターとして活動中。

近年は海洋ゴミから楽器を作る手法を独自に編み出し、海洋ゴミ楽器の創作・演奏活動を通してゴミと資源の狭間を日々探究している。

## 海【カイ】

ギタリストでありながら数十種類、数百台に及び民族楽器を所有し、インドのシタール奏者としても活動するマルチプレイヤー。

弦楽器から打楽器まで多種多様な海洋ゴミ楽器の大半を演奏することが出来るため、演奏者としての視点から海洋ゴミ楽器の品質の向上にも大きく貢献している。

他、主な活動として AcousticHip-Hop ユニット「路地裏 CatWalk」のギタリスト。多国籍楽器バンド「倍音ざんまい」では全楽器を担当。



## 山口沙織【やまぐち さおり】

ゴミンゾクのヴォーカル・鳴り物を担当。

名古屋音楽大学声楽科在学時よりゴスペルクワイアのソリストに選ばれ歌手の道へ。

ジャンルを問わず活動を展開し、感受性豊かな表現スタイルから役者としても舞台に多数出演。

「歌を通じて心が繋がる喜びを伝えること」をライフワークとして、自身の歌手活動の他、subako 音楽教室主宰、音楽専門学校の講師を務めるなど後進の育成にも力を注ぐ。現在、プチジャズバンド「ラブル〜☆」、GOKIGEN BAND「まりも」、アコースティックデュオ「砂の女と箱男」在籍。二人の息子がいるママシンガー。

## ミュ

ゴミンゾクの鍵盤打楽器・鳴り物・ダンスを担当。

幼少期にピアノをはじめ、学生時代から数々のバンドを経て様々なジャンルの音楽に触れる中、アフリカの太鼓に出会う。

その魂を揺さぶる響きに衝撃を受け太鼓はもとより、そのエネルギッシュなアフリカンダンスの魅力にも惹かれ、本国ギニアへも渡航。音楽を通して人々を元気にすることを喜びとしている。



## ホーリー

ゴミンゾクの主に打楽器を担当。主にギニアのリズムに造詣が深く、音楽歴が太鼓歴とイコール。

アフリカの太鼓の魅力を世に広めるべく、様々なアフリカンバンドのメンバーとしても活動。

現在もリーダーと共に西アフリカのリズムを探究し続けている。



《このコンサートに関するお問合せ先》

瑞浪市 陶公民館 瑞浪市陶町猿爪 405-1

電話 0572-65-2112 / E-mail sue@suechou.com

主催 陶町明日に向けて街づくり推進協議会(文化教育部会) / 後援 陶公民館